

第5回新庁舎整備基本計画検討分科会

<開催概要>

日時:令和8年1月6日(火) 10:00 開会

場所:熊本市役所 4階モニター室

参加者:(委員・臨時委員)田中委員(分科会長)、菅野委員、星野委員、吉城委員、住吉委員(Web)、壇委員(Web)、八幡委員、松里委員、道脇委員、西山委員

<資料>

- ・次第
- ・委員名簿
- ・配席図
- ・資料1_第4回分科会での主な意見と対応
- ・資料2_駐車場
- ・資料3_駐輪場
- ・資料4_公共交通機関との連携検討
- ・資料5_周辺整備
- ・資料6_全体ゾーニングイメージ
- ・資料7_コンセプトの設定
- ・参考資料1_第5回分科会の審議
- ・参考資料2_駐車場関係
- ・参考資料3_公共交通機関との連携検討

<会議の経過>

1. 開会、事務局挨拶

2. 田中分科会長挨拶

(田中会長)

基本計画に関する検討が大詰めを迎える中、本日は審議事項として、駐車場、駐輪場、公共交通、周辺整備、全体ゾーニングイメージ、最後にコンセプトと多岐に渡るが、様々な視点から活発なご意見を求める。

3. 審議に入る前の事前説明

(田中会長)

審議に入る前に、本日どのような内容を審議し、何を整理する予定なのか、事務局から説明してほしい。

(事務局)

本日の審議の流れについて説明させていただく。参考資料1に今回の審議内容について整理したものを示す。まず、第4回分科会でのご意見に対する対応をご確認いただいた後、駐車・駐輪機能、公共交通機関との連携、周辺整備の検討について審議を行っていただく。公共交通機関との連携と周辺整備に関しては、現庁舎跡地を含めた街全体の回遊性の検討につながってくるので、今回の分科会でのご意見を、「庁舎周辺まちづくりプラン(仮称)等検討委員会(以降、親会)」と「まちなか再生・賑わい波及検討分科会」に報告し、その中で今後どのように検討を進めていくかを含めて整理を行いたい。その後、全体ゾーニングイメージでこれまでの分科会で積み重ねてきた審議内容の確認を行い、最後にコ

ンセプトについての整理を行う。

4. 審議事項1) 第4回分科会での主な意見と対応(資料1)

(田中会長)

資料1の説明を事務局よりお願いしたい。

(事務局)

資料1の説明をさせていただく。主なご意見についてご説明させていただく。

議会機能の3つ目のご意見に対する対応としては、令和7年12月8日に行われた「庁舎整備に関する特別委員会」において、第2回分科会と第3回分科会のご意見と対応についてご報告させていただいた。全体の1つ目のご意見に対する対応としては、今回の分科会で、全体ゾーニングイメージやフロア構成などを横断的にイメージできる資料を提示させていただくので、ご審議いただきたい。

(田中会長)

議会機能に関する分科会での意見を議会に報告したとのことだが、議会でもどのような議論があったのかももう少し説明していただきたい。

(事務局)

議会図書室と議会機能を低層部に配置できないかというご意見について、先述の特別委員会でご報告させていただいた。議会図書室は地方自治法の規定に基づき、議員の調査研究に資するために設置されているものであり、市民の利用範囲については慎重に検討する必要があるのではないかとご意見を議員からいただいている。なお、議会事務局からは、仮に議会図書室を屋上に配置したとしても、市立図書館との連携機能(予約システムによる貸し出しや返却)については低層部に配置することも検討できるとのご意見をいただいている。

また、構造的な理由とセキュリティ上の理由で議会機能を上層部に配置していることに対するご意見についても、議会に報告させていただいたが、議会からは分科会の委員にあらためて理由等について説明するように依頼があった。

災害時に議場を市民に一時的に開放することに対しては、大規模災害が発生した場合、発災後1週間程度で議会の全員会議を開く想定があり、また災害対応等の予算について臨時議会を開く必要もあることから、議場を避難所として開放する想定はないとの見解をいただいている。事務局としても、桜町・花畑周辺地区の市民や来街者を受け入れるスペースとしては、上層部にある議場ではなく低層部を活用したいと考えている。

今後も、議会機能に対していただいたご意見については、議会あるいは議会事務局に随時ご報告させていただく。

(田中会長)

議場を上層階へ設けることに対する構造的な理由について、もう少し具体的に説明いただきたい。

(事務局)

議場は二層吹き抜け構造で高さが必要な部屋であり、さらに柱スパンも大きくとる必要があるため、仮に低中層部に設けた場合は構造的な弱点が生じることとなる。このような構造的な理由から、議場については上層部に配置したいと考えている。セキュリティ上も上層部に設けることが望ましい。

(田中会長)

他にご意見はないか。

(松里委員)

災害時は新庁舎を一時避難所として使うことになると思うし、全員会議が開かれるまでの1週間程度であれば、議場を開放することはできるのではないかとと思う。

また、議会図書室については他都市の活用事例は調査しているのか。議会事務局が先導して調査しても良いのではないかと。それを踏まえて、議会図書室の開放を考えていただきたい。屋上に議会図書室を設けられれば屋上庭園と連携し、市民に利用してもらうようなやり方もあると思うので、より市民に利用してもらえるような議会図書室を検討していた

だきたい。

(事務局)

議会としても、議会図書室の市民利用を制限するという考えではなく、議会図書室は議員活動のための図書室であるという前提があるというご意見をいただいている。屋上庭園に隣接する形で配置して、市民の皆様にとって使いやすいものにするについては、検討できればと考えている。

なお、災害時の議場の開放については、一時的な避難であれば受け入れられるのではないかというご意見もあると思うが、仮に議場に避難者を誘導した場合、復旧フェーズになって避難者に別の施設に移動をしていただくのは、双方にとってかなりの負担となり、復旧・復興の支障となる可能性がある。一方で低層部のオープンスペースであれば、一時避難者の移動が比較的容易なので、復旧・復興活動も並行して行える。

(田中会長)

それはエリア防災の考え方に直結してくるので、桜町・花畑周辺などエリア一帯で協議していった方が良いと思う。

5. 審議事項2) 駐車場・駐輪場(資料2・参考資料2・資料3)

(田中会長)

資料2と資料3の説明を事務局よりお願いしたい。

(事務局)

資料2の説明をさせていただく。整備方針については、公共交通を主体とした移動手段への利用転換を図り、人中心のまちづくりを進める都市政策の方向性を踏まえて、新庁舎の駐車場は、周辺駐車場の活用を前提に整備台数を設定し、駐車スペースの合理化を図る。本庁舎は約80台、中央区役所は約75台分の駐車スペースを地下に整備し、周辺駐車場の活用を合わせて必要台数の345台を確保する。来庁者は、新庁舎敷地内と辛島公園地下駐車場で必要台数を確保し、駐車場を自由に選択できるようにする。公用車については、辛島公園地下駐車場など周辺駐車場を活用することとする。資料2の1枚目、右下の表は、施設ごとの必要台数を示しており、本庁舎・議会には、来庁者の約50台に、公用車と荷さばきを合わせて約225台となった。中央区役所には、来庁者の約100台に、公用車と荷さばきを合わせて約120台、合計で約345台となった。資料2の2枚目に移る。左中段の表に、駐車場の配置計画を示す。本庁舎は地下1階に約80台、中央区役所は、地下1階、地下2階合わせて約75台の駐車場を整備し、残りの約190台は、周辺駐車場を活用することとする。左下の表に示すように、新庁舎敷地内の駐車場は、来庁者を優先配置することとし、公用車は主に、周辺駐車場を活用することとする。駐車場の出入口については、右図に示すとおり、本庁舎は県道高森線に接続し、左折による出入りとする。また、バスの通行に支障をきたさないよう、引き込み車線の設置を含めた動線計画を検討する。中央区役所の出入口については、県道の交通に影響を与えないよう、西側の市道に設置する。

参考資料2では、資料2で示した必要台数の算出方法や、その他課題に対する対応策等をまとめた。1枚目には、来庁者必要台数約150台の算出方法を示す。市役所駐車場の年間駐車実績から、時間帯ピークや、平均駐車時間を踏まえて算出している。2枚目から5枚目にかけては、新庁舎周辺の駐車需要という点について、現状・課題と検証結果をまとめた。現状・課題として、新庁舎周辺には熊本城や熊本桜町ビルに加え、イベント会場など、特に休日に駐車需要が集中する施設が数多く立地しており、その結果、熊本桜町ビルなど、特定の駐車場が満車となり、入庫待ち車両等が発生する問題が生じている。この状況の中では、庁舎移転に伴いAPパークなどの駐車場が閉鎖され、エリアとして300台弱の駐車スペースが減少することで、さらにこの状況が悪化する恐れがある。右中段の表には、新庁舎周辺における、規模の大きい3つの駐車施設の、1年間における満車日数を示す。満車日が休日に集中しており、3つの駐車施設が、同日に満車となった日が、22日あるが、全て休日となっており、休日の駐車需要が特に高いことが確認できる。この状況の中で、右下の表に示すとおり、庁舎移転に伴って、新庁舎周辺の駐車場が減少することとなるため、これらの変化を踏まえて、新庁舎周辺の駐車需要を、受け入れ可能な駐車場が徒歩圏内に存在するかについて検証した。参考資料2の3枚

目に移る。下の棒グラフで示すとおり、平日・休日を問わず、年300日程度の通常日においては、右上の赤色で示す新庁舎周辺の駐車需要は、当該エリア内で、受け入れ可能な駐車場が存在していることが確認された。一方で、年最大日で計算した特異日については、赤色の新庁舎周辺の駐車場だけでは、これらの駐車需要を受け入れることが困難であることがわかった。よって、新庁舎周辺の駐車需要を、青色で示す徒歩圏内である桜町・下通エリアの駐車場で、受け入れ可能かどうかについて検証した。参考資料2の4枚目に検証結果を示す。下の棒グラフが示すとおり、平日・休日を問わず、年間最大の特異日においても、新庁舎周辺の駐車需要を、受け入れ可能な駐車場が存在していることが確認できた。参考資料2の5枚目に移る。新庁舎周辺の駐車需要は高く、当該エリアのみでは受け入れが困難なものの、徒歩圏域には負担可能な駐車場が存在する。このことから、新庁舎の駐車場は、周辺駐車場の活用を前提として整備台数を設定し、下記の対応策に示すとおり、公共交通利用促進などの駐車需要削減の取組みに加え、駐車場の満空情報案内や、歩行環境の改善など、駐車需要を分散化させる取組の検討を進めるとともに、右側の新庁舎の駐車場整備では、入庫待ち車両の待機スペース確保などの検討を進めることで、対応していきたい。参考資料2の6枚目では、本庁舎移転により、車の流れが変わることで、熊本高森線のバス通行に影響が生じないかという点について、整理している。庁舎移転により、現在、380台の駐車スペースがあるAPパークが閉鎖され、新本庁舎の駐車場を80台整備することで、高森線沿道の駐車場としては、300台が減少し、入庫台数についても減少する。さらに、庁舎の開庁時間は、午前8時30分以降で、庁舎利用のピークが午前10時台ということもあり、バスのピーク時間である午前8時台と差が生じることで、バスとの交錯などのリスクについては、大幅に改善される。下のグラフは、左が平日、右が休日を表しており、左上のグラフは、時間帯別の入庫台数の変化を表す。青が現状のAPパークの入庫を示し、紫が庁舎移転後の本庁舎の入庫を示すが、明らかに少なくなることが確認できる。右の出庫台数も同様で、休日の表についても同じことが確認できる。このことから、現状よりもバスとの交錯リスクが大きく改善されると考えている。

資料3の説明をさせていただく。駐輪場の整備台数は、来庁者需要や職員の利用状況、さらに庁舎移転に伴い閉鎖される駐輪場の影響を踏まえて設定を行う。資料3の2枚目に移る。来庁者へのアンケート調査の結果、右側の表に示すとおり、必要台数は、自転車は約70台、原付・自動二輪で約20台となっている。左下には、庁舎移転に伴い閉鎖される駐輪場を示す。議会棟横の駐輪場や、現庁舎の地下で使用している公用自転車の駐輪場に加え、中央区役所の建設地に、現在のDパーキングの駐輪場が閉鎖されることになる。これらの4箇所の駐輪場をあわせて309台の駐輪場が閉鎖されることとなる。資料3の3枚目に移る。左のグラフでは、庁舎周辺の駐輪場で、上のグラフが自転車、下のグラフが原付の利用状況を示す。グラフで示すとおり、周辺エリアでは駐輪需要に対し供給が充足していることが分かる。よって、来庁者の必要台数も含め、駐輪場は現状充足していると判断し、右上に記載のとおり、新庁舎の駐輪場は、閉鎖される駐輪台数309台と、ほぼ同数の約310台の駐輪場を整備する。配置については、本庁舎に約210台、中央区役所に約100台を整備するが、前ページに記載のとおり、来庁者よりも職員の利用の方が多いことから、今後、職員の利用が来庁者の駐輪スペース確保を妨げないよう、運用面についても、詳細に検討する。

(田中会長)

駐車場については、第1回分科会にて、検討の方向性について審議を行い、周辺駐車場の活用についても検討を行うということだったと思う。今回、その検討結果として設置台数が示されたが、台数の考え方などについて、何かご意見等があればお願いしたい。

(道協委員)

現庁舎の駐車場は、駐車スペースが狭く使いづらい。そのような点も踏まえて整備を検討していただきたい。

(事務局)

新庁舎の駐車場整備にあたっては、現行規格を満たすことは当然として、将来の動向も踏まえた駐車場整備を検討していく。

(松里委員)

庁舎周辺の渋滞・混雑対策として、駐車場の満空情報案内の表示を電車通りでもできればいいのではないか。そもそも公共交通機関への利用転換の促進をもっと検討したほうがいい。また、現在の課題を洗い出して、それに対してどのような解決策があるのかを整理することが必要である。

(事務局)

現在、庁舎移転に伴う影響を踏まえて主要交差点の解析を行っている。現状、一定の条件のもとでは、数値上は問題ないとの結果となっているが、現在よりも市役所方面から住友生命熊本ビル前の交差点を右折し中央区役所へ進入する車両が増え、後続車への影響が出てくる懸念があることから、今後、動的シミュレーションも活用しながら発生する影響について検討を行う。

(田中会長)

現時点で、市役所方面から住友生命熊本ビル前の交差点を右折することを許容する考えなのか。

(事務局)

現時点で右折を許容する考えであるが、この周辺で車と市電との接触事故が多いのは、事務局も認識している。なお、現状の交通環境に関する課題については、庁舎整備の基本計画では、どのような課題があるのかを整理した上で、親会や公共交通関連の協議体に繋いで、しっかり議論していきたいと考えている。

(道協委員)

資料2の2枚目の図に示される、本庁舎の左折イン・左折アウトについては、右折侵入防止用のポール等は設けるのか。

(事務局)

検討する必要があると考えている。

(道協委員)

物理的に右折進入を防止する対策が必要なので検討していただきたい。

(菅野委員)

参考資料2の6枚目に示される、本庁舎等の入庫台数(想定)の休日の7時台における入庫台数が日中よりも極端に多いのが疑問であり、正確な数値なのか再確認をお願いしたい。

(事務局)

再確認の上、委員の皆様へ報告する。

※補足:資料の数値について正確であることを確認し、後日、各委員へ報告済。

(星野委員)

参考資料2の3枚目～4枚目で周辺駐車場の収容台数について示されるが、一方で、まちづくりの観点から街なかの平面駐車場の有効活用を促進していくので、この資料で整理された周辺駐車場の収容台数に平面駐車場を含んでいるのかを再確認したい。

(事務局)

収容台数が100台以上の立体駐車場を対象としている。

(星野委員)

承知した。それであればまちづくりの話とも整合が取れるので、安心した。

(松里委員)

新庁舎の地下駐車場の浸水対策についてだが、止水板で物理的に対策するだけでなく、災害時に出勤できる公用車の台数を確実に確保できるように、地上にもある程度配置するなど、ソフト面での対策も検討していただきたい。昨年8月の豪雨被害では、避難所対応や災害対応で出勤した職員の自家用車が水没して、補償がされないといった事案があったと聞いている。災害対応に当たる職員の負担を軽減するためにも災害時における公用車の活用を再度考え直していただきたい。

(吉城委員)

この分科会場で、周辺交通に関する課題を挙げて、別の会議体へ繋いでいくのは大事だと思っているが、新庁舎周辺に焦点を当てた交通に関する会議体は現時点で無いと思うので、今後どこの会議体にどのように引き継いでいくのかを明確に示すことについてご検討いただきたい。また、昨年6月の熊本桜町ビルでのイベント時に、周辺で大規模な渋滞が発生し、バスの通行に大きな影響が生じた事案があった。この事案から学べることは、とても大きいと思うし、特にバスに与える影響を検証しておく、新庁舎周辺の交通対策を検討する上でのヒントになるかもしれない。この事案の振り返りを是非お願いしたい。

(田中会長)

この事案の実態については、市として把握はしているのか。

(事務局)

交通関連部局が把握していると思う。どのように引き継いでいくのかは、今後検討させていただく。

(田中会長)

現状、他の会議体が無いという中で、公共交通も含めた交通のあり方については基本計画の中で示せそうか。

(事務局)

どのように引き継いでいくかというのが論点として非常に重要。まずは、親会へしっかり引継ぎができる体制作りを行い、課題を整理した上で、基本計画でお示しできればと考えている。

(田中会長)

他の協議体への引き継ぎ方や見通しについては、ビジョンがあった方が良いと思う。

(星野委員)

そもそも誰かが書いてくれるという姿勢では何も進まない。

(西山委員)

新庁舎の駐車場に入庫できなかった人は、周辺駐車場を利用することで収容台数を賄えるということは理解できるが、周辺の民間の駐車場については、料金が安い印象を持つ市民が多いと思う。高い駐車料金がネックとなり、庁舎への滞在時間が最小限となってしまえば、せっかく整備する交流・共創スペースの市民の利用も限定的になってくるのを懸念している。

(田中会長)

これについてはソフト面の対策も必要となるだろう。

(事務局)

当然、周辺駐車場との提携を行い、減免措置を図っていくことが有効な対策と思うが、できるだけ新庁舎から近い民間駐車場との提携を検討していきたい。

(田中会長)

資料2では周辺駐車場で190台分を確保するとあるが、モニタリングをしながら、確保できる駐車台数を増やしていくなどの柔軟な対応も必要だと思う。

(八幡委員)

市役所に用事がある方が、どこも満車で駐車できずに、来庁を諦める事態となるのは避けていただきたい。身体障がい者や妊婦などへの配慮も必要であるが、民間駐車場でその辺りに配慮した施設は少ないため、その辺りも含めて対策を検討してほしい。新庁舎の駐車場からだけでなく、周辺駐車場から新庁舎へのアクセスにも配慮が必要。

(事務局)

身体障がい者等に配慮した駐車スペースの数は、今後検討を行っていく。ご指摘いただいたアクセス性についても、インクルーシブデザインの観点から、多様な人の意見を聞きながら、進めていきたい。

(八幡委員)

周知・アナウンスの方法についてもご検討いただきたい。

(田中会長)

参考資料2の3枚目～4枚目について、特異日における対応としてどのようなことを考えているのか。

(事務局)

基本的には、満空表示案内と空きのある駐車場への誘導といったソフト面の対応となる。

(田中会長)

新庁舎周辺の渋滞により、バスの通行が滞ることがないように対応をもう少し検討していただきたい。

(事務局)

現時点では、特異日での対応としては人を配置して迂回を促すなどのソフト的な対応が中心となるが、その他の対応策についても検討し、課題として、基本計画で示すべきだと考えている。

(松里委員)

新庁舎の駐輪台数は結局何台なのか。

(事務局)

資料3の3枚目に記載しているので、ご確認いただきたい。駐輪場の配置場所については、今後の検討となる。

(松里委員)

車両を減らすという観点では、シェアサイクルと周辺駐車場との連携も有効ではないか。

(田中会長)

そのような観点も重要だと思う。いずれにせよ、周辺交通対策については他の会議体へ引き継ぐものも含めて、概念図などで示してほしい。

(松里委員)

職員の通勤手段の把握も必要である。それも踏まえて、渋滞対策を検討した方が良い。

(田中会長)

この場で周辺交通に関する課題について整理することが必要だと共有したが、新庁舎への駐車台数や整備方針としては、資料の内容でよろしいだろうか。

(各委員)

よろしい。

(八幡委員)

チャリチャリ(熊本市におけるシェアサイクルのサービス)が歩道上にはみ出ている状況が見受けられる。チャリチャリに対する熊本市での位置づけや今後の熊本市の活用方針はどのようになっているのか。

(事務局)

熊本市として推奨している。位置づけや今後の活用方針については、担当部署に確認し、ご報告させていただく。

(田中会長)

現状の把握と今後の方針の確認をお願いしたい。

6. 審議事項3) 公共交通機関との連携検討・周辺整備(資料4・参考資料3・資料5)

(田中会長)

資料4と資料5の説明を事務局よりお願いしたい。

(事務局)

資料4の説明をさせていただく。庁舎移転に伴って、周辺のバス停・電停について、移設あるいは増設が必要かどうか

を検討している。資料4の2枚目では本庁舎・議会棟利用者の公共交通アクセスについて整理したものであり、左図に電停、右図にバス停を示す。本庁舎に関しては、現状の電停・バス停が徒歩圏内に存在する。ただし、花畑町電停については、将来的なバリアフリー対応に関する改良計画や、回遊性の向上といった観点を踏まえ、今後も各関係機関との連携のもと検討を進めていく必要がある。バス停については、桜町バスターミナルが隣接していることから、その利用を前提とし、更なるアクセス向上のために桜町ビルとの新たな歩行者動線の接続について検討を行う。資料4の3枚目は中央区役所利用者の公共交通アクセス性について整理したものであり、2枚目と同様、左図に電停、右図にバス停を示す。電停については、熊本城・市役所前電停が、徒歩圏内に存在する。バス停については、上り、下りともに徒歩圏内にはバス停は存在するものの、現状のバス停位置が、通町筋側に偏在していることや、高齢者が、休まずに歩ける距離などを勘案し、上下線ともに移設または増設の検討を行いたい。なお、参考資料3で、公共交通の利用状況や、市役所前電停およびバス停で降車した方の方向別の動きを整理しているので、後ほどご確認いただきたい。

引き続き、資料5の説明をさせていただく。冒頭で説明したように、周辺整備については、今回の分科会でのご意見を親会や他の分科会に報告し、その後どのように進めていくかを検討していきたい。当分科会では、「利便性向上」と「回遊性向上」の2つの観点から検討を行いたいと考えている。利便性向上については、本庁舎・議会棟と中央区役所を結ぶ歩行者動線やバス停・電停からの歩行者動線、歩道空間の整備、デッキ接続などを検討していきたい。回遊性向上としては、本庁舎・議会棟と中央区役所の周辺に現在でもオープンスペースが点在しているので、これらとの連続性・広がり向上について検討していきたい。資料5の2枚目は、利便性向上を目指した整備の検討について整理したものである。本庁舎・議会棟は、辛島地下駐車場との地下接続や熊本桜町ビル・市民会館側とのデッキ接続を検討していくほか、図中に青で歩行者動線を示すが、このあたりの歩道空間の整備について検討していきたい。資料5の3ページ目は、回遊性向上を目指した整備の検討について整理したものである。現在の市民会館や国際交流会館の前のオープンスペースや長堀通りのベンチなどは一体的に整備がされていないため、それらと各新庁舎の庇下空間との連続性や面的な広がりを実現し、回遊性の向上につながるよう検討していきたい。

(田中会長)

冒頭に事務局から説明があったように、公共交通機関との連携検討や周辺整備の検討については、まち全体の回遊性の方向性等を踏まえた検討が必要となるため、この分科会での審議結果を親会や他の分科会に報告し、今後どのように検討を進めるかも含めた整理を行うということであった。今の説明に対し、ご意見をいただきたい。

(松里委員)

特に中央区役所はバス停と電停の移設・増設は必須だと思うが、一方で歩行者と車が交錯することになるので、慎重な検討をお願いしたい。

(事務局)

住友生命熊本ビル前の交差点から中央区役所に侵入する車と歩行者が交錯することの懸念については、事務局としても認識しており、歩行者の安全に配慮できるようにバス停の位置や整備手法を検討する。また、花畑町電停から本庁舎・議会棟のアクセスについても、現在の歩道空間が狭いといった課題もあるので、そのような点も踏まえて対策を検討していきたい。

(道協委員)

本庁舎については、熊本桜町ビルとの接続と連携が実現できれば、熊本桜町ビルで買い物をしている市民にとって利便性がかなり高まると思う。新庁舎の1階に簡単な手続機能を設ける話が以前あったと思うが、実現されれば、熊本桜町ビルでの買い物のついでに寄れる。その辺りの検討についてはどうなっているのか。

(事務局)

コンビニ交付サービスの端末を本庁舎の低層部に設けることは想定されるが、区役所と同じ手続・相談機能の設置は本庁舎では想定していない。

(星野委員)

バス停の移設については、柔軟な検討が必要。本庁舎・議会棟は桜町バスターミナルに隣接していることで利便性が高いことを謳っているが、規模の大きなバスターミナル内の移動距離は大きい。その辺りも踏まえて柔軟に検討してほしい。また、周辺整備については、資料5の1枚目に記載の図で、黄色の範囲(本分科会で主に検討する範囲)を熊本城・市役所前電停と花畑町電停が包含できるまで拡大したほうが良くないだろうか。電車通りも絡めていくことが大事である。

(田中会長)

私も同じ認識だが、事務局としてはいかがか。

(事務局)

重要な観点だと思う。当分科会の対象は庁舎の基本計画であるが、星野委員のご意見の通り、周辺整備の検討範囲を拡大したい。

(吉城委員)

資料4の2枚目～3枚目の図には車両の動線の記載がない。交通量のボリュームを把握した上で、ウォークアブルな環境を実現するためにはどのような検討が必要なのかを議論することが必要ではないか。この図だけ議論を進めると、結局は車優先となってウォークアブルが実現できなかったというような結末になりはしないかと懸念している。周辺整備においても、交通量を絡めた議論となるようにしてほしい。また、行幸橋前の三叉路についても、このままでいいのか疑問がある。例えば、海外のようにラウンドアバウト(信号機の無い環状交差点)の導入も検討していいのではないか。

(星野委員)

それを踏まえると、資料5の2枚目では、歩道空間の整備の検討に留めるのではなく、道路の再配分、交差点改良まで示しても良いのではないか。

(事務局)

庁舎の基本計画としてどこまで謳えるかは現時点で言えないが、課題をしっかりと抽出して、記載内容を今後検討していきたい。

(田中会長)

基本計画なので、交差点改良などの具体的な手段というよりは、検討の方向性を謳うべきで、歩行者中心の動線などの方向性をこの分科会で示したい。そういった意味では、資料5の「歩道空間等の整備」は「歩道空間の充実」という表現にしても良いと思う。

(松里委員)

ウォークアブルの視点では、中央区役所への車両の進入を限定的にするのも重要ではないか。

(田中会長)

そう踏まえると、やはり周辺整備の議論では、車両の動線を図に示さないといけない。

(松里委員)

長堀通りから中央区役所の動線を考慮すると、城見櫓前の階段はどうにかしたい。新庁舎周辺のウォークアブルな環境を実現していく上では、長堀通りの活用が不可欠で、前述の段差解消の検討も必要ではないか。併せて、歩行者を長堀通りへ誘導すると、歩行者と車両の交錯も無くせるので、検討しても良いのではないかと思う。

7. 審議事項4-1) 全体ゾーニングイメージ(資料6)

(田中会長)

審議事項4)の「全体ゾーニングイメージ」と「コンセプト」の審議に入る。「全体ゾーニングイメージ」については、先ほど事務局から説明があったが、前回の審議の中で、「機能や性能など、各々検討を進めているが、それぞれの項目が矛盾

なくつながっているか横断的な視線での確認が必要では。」という意見があり、事務局でイメージを整理したとのことである。まずは、このイメージを共有した後に、コンセプトについて整理したいと思う。まず資料6について、事務局から説明をお願いしたい。

(事務局)

資料6について説明をさせていただく。1枚目に本庁舎・議会の全体ゾーニングイメージを示している。4階、5階、6階を基準階とし、右下には基準階の3つのパターン図を示す。ここで示す全体ゾーニングイメージは、これまで積み重ねてきた議論の内容を反映したものである。2階の外部デッキでは、回遊性の向上を図るため熊本桜町ビルや市民会館側とデッキで接続することを検討するほか、大雨災害時の一時的な避難スペースとしての活用も検討している。随所に示している交流・共創機能はあくまでイメージであり、どのように配置するかは設計段階での検討になるが、執務機能も含めて、様々なスペースに交流・共創機能を配置していきたい。2枚目に中央区役所の全体ゾーニングイメージを示す。1階の道路に面した部分は、ピロティを設け、歩行者空間をできるだけ確保したいと考えている。基準階や交流・共創機能の考え方は1枚目と同様である。

(菅野委員)

本庁舎の議会部分にも、交流・共創機能があっているのではないかと。例えば共用部ロビーなどは交流・共創機能としてのスペースになり得ると思うので、是非示していただきたい。

(田中会長)

議会部分周囲の展望ロビーをもう少し膨らませて表現し、そこに交流・共創機能を表示すればいいのではないかと。

(松里委員)

本庁舎の1階の東側に外部デッキがあるが、そこにも屋根の設置を検討していただきたい。熊本の夏は特に暑いので、屋根があるだけでも滞留できるようになる。できれば新庁舎周辺の歩行者空間の整備においても、暑さ対策としての屋根の検討をお願いしたい。

(田中会長)

そう踏まえ、外部の歩行空間の防暑対策も基本計画で示したい。

(八幡委員)

本庁舎・議会の2階に「手続・相談機能」が配置されているが、ここでの手続・相談機能は3階～6階の執務室と直接関係するものに限定することを想定しているのか。もし可能であれば、中央区役所と連携して相談を受け付ける機能があればいいと思うが、どのような想定をしているのか。

(事務局)

本庁舎において、対応頻度が高いと想定される特定の手続を対象としている。現時点で想定しているのは、建築関連の手続及び問合せがまとめて行える「建築情報センター」としての機能であるが、簡易的な手続・相談機能の低層部などへの配置も含めて検討していきたい。

(田中会長)

そう踏まえ、2階の「手続・相談機能」は、主に業者を対象にした専門的な窓口の印象が強いため、それとは別に市民対応の窓口機能は少し表現を変えて1階に配置するといった示し方を検討してほしい。

(住吉委員)

西日の影響を受けるゾーニングのように受け止められるので、対策を検討しておくことも必要。特に中央区役所は、執務スペースが西側にあり、西日の影響を大きく受ける配置となっている。空調負荷低減の観点から、ルーバーの設置などの日射遮蔽手段も検討しておいて欲しい。

(田中会長)

基本計画の環境対策で、西日対策について、示さなくて良いか。

(事務局)

第4回分科会の資料9の3枚目のイメージ図でお示しているが、この内容を基本計画で盛り込む予定。

(住吉委員)

承知した。この内容を盛り込むのであれば、現時点では特に問題はないだろう。

(菅野委員)

資料6の3枚目「交流・共創機能」で示されている「文化的処方の拠点」に、やはり違和感がある。交流・共創機能は庁舎全体に散りばめられるので、「拠点」という表現があると、1か所に限定される印象がある。

(田中会長)

1か所に限定する書きぶりではなく、「低層部などを中心に・・・」のように他の可能性を含ませた表現でもいいと思う。

(事務局)

当然、交流・共創機能は庁舎内の随所に配置するが、その中でも低層部を文化的処方のコア的な扱いとしたいため、「拠点」という言葉を使った。基本計画での表現方法については、再度検討を行う。

(田中会長)

私から1点申し上げたい。中央区役所のゾーニングイメージでは、1階南側を周辺整備との連携を考慮したスペースとしての余地を確保してほしい。今の資料では、「車路等」と記載されているが、この部分の利活用の可能性を残した表現としていただきたい。

8. 審議事項4-2) コンセプトの設定(資料7)

(田中会長)

最後に「コンセプト」の審議に入る。コンセプトについて、これまでは仮コンセプトとして取り扱ってきたが、各機能の検討も進み、素案として取りまとめの段階になってきたので、あらためて見直しを行いたい。まずは、見直しにあたってのポイントについて、事務局から説明をお願いしたい。

(事務局)

資料7の説明をさせていただく。見直したポイントは2点あり、1つ目は「市民に分かり易く、伝わりやすいコンセプトとする」、2つ目のポイントは「新庁舎が熊本市民の新たな誇りとなることを目指し、震災復興の象徴であり、熊本市民の誇りである熊本城とのつながりを表す」である。ポイントの2つ目は、新庁舎が熊本城の麓に建設されることと、熊本城が熊本市の復興のシンボルであることから、「熊本城」という言葉をコンセプトに絡めてはどうかと考えている。イメージとしては、資料7の下に示しているとおり、コンセプトを本題(熊本城の要素を絡めた言葉)と副題(本題を補足する言葉)で構成してはどうかと考えている。

(松里委員)

ここで「熊本城」が出てきたのは非常に唐突感があり、戸惑っている。このようになった経緯を説明していただきたい。

(田中会長)

私から説明させていただく。先日、市長と新庁舎に関して意見交換する機会があり、市長のイメージや想いを伺った。市長からは、新庁舎が熊本城の近くに整備されることは事実であり、さらに熊本城は防災の拠点として街を見守る存在であることから、新庁舎のコンセプトには、そのニュアンスを是非とも含めたいのご意見があり、市長の強い思いとして受け止めた。それを踏まえると、「熊本城」という言葉をどのようにコンセプトに盛り込むかが、コンセプトを考える上でのポイントである。また、市長からは、仮コンセプトの「森としての庁舎」については、「森」と「新庁舎」の結びつきが分かりにくく、市民に対して説明することを考えると、「森＝庁舎」は唐突感があるため、より分かり易い表現にしてほしいとの要望があった。当然ながら、分科会で議論して整理した内容については理解していただいているが、表現の仕方・伝え方をあらためて検討するということである。

(星野委員)

田中会長が述べられたポイントに加え、桜町やくまもと街なか広場のコンセプトが「熊本城と庭つづき まちの大広間」ということで、それを継承するようなニュアンスも大切だと思っている。「森」という言葉が持つ多様性の意味については、我々はこの場で議論しているから理解できるが、初めて耳にした方は多様すぎて意味がつかみにくいというのは確かにあると思う。

(田中会長)

先日の対談の後も、市長とコンセプトについて意見を交わす機会があり、それを踏まえ、私の方でコンセプトの案をまとめてきたので、共有させていただく。

****田中会長から示されたコンセプト案****

“熊本城とともにまもり森の都をはぐくむ庁舎 -市民にひらかれともにつながる-”

(田中会長)

本題を「熊本城とともにまもり森の都をはぐくむ庁舎」、副題を「市民にひらかれともにつながる」としてまとめた。この内容については、これまでの分科会で議論してきたことを盛り込んでいる認識だが、やはり防災が最も重要なキーワードであることから「熊本城とともにまもり」とし、「森の都をはぐくむ庁舎」については、庁舎単体で森が完結するのではなく、街一帯が森の都であり、それを育てていく存在として庁舎があるという言い方が良いだろうと考えた。「森＝庁舎」ではなく、まちづくりや市民共創も含めて、森の都をはぐくむ庁舎としてまとめるにはいかがだろうか。そして、市民にひらかれていること、市民ともにつながることの意味を込めて、この副題を設けてみた。

(松里委員)

「市民にひらかれ」よりは「市民がつどい ともにつながる」として、市民が主語に来るような表現にした方が良いと思う。また、「熊本城とともにまもり・・・」にも腑に落ちない感じがある。熊本城も守られるべき文化財であると思うし、歴史的価値のある熊本城を市民が守るというニュアンスも込めたい。熊本城が市民を守るだけではなく、市民が熊本城をこれからも守っていく話にもなってくると思う。

(田中会長)

しかし、「熊本城とともにまもり」でも、読み方によっては熊本城が守られるニュアンスも含まれるのではないかな。

(星野委員)

熊本城が守られるべきと位置づけるのはいかがなものだろうか。熊本城は熊本市民のシンボルであるので、市民の暮らしにとって、より生き生きとした存在を表現した方がよいと思う。

(吉城委員)

ここで示されている副題は、市民同士がともにつながるイメージなのか、それとも市民と市役所がつながるイメージなのか。

(田中会長)

どちらかというと市民同士がつながるイメージに近いのではないかな。

(八幡委員)

熊本城は歴史的なシンボルであるので、熊本城の要素をコンセプトに出すのであれば、新しくできる庁舎も熊本城が築いてきた歴史の流れとともにあるという意味で、本題を「熊本城とともにあゆむ新庁舎」といった表現にし、また、この分科会で審議してきた防災の視点などを副題に入れ込むのも良いのではないかなと思う。

(田中会長)

私としては、まちづくりのニュアンスを残したいので、それを踏まえると「森」の言葉は盛り込みたい。「森の都」に対応

する言葉として「熊本城」にするのは全く問題ないと思う。

(菅野委員)

示されたコンセプト案では、庁舎のコンセプトとしての印象が薄い感じがする。このコンセプト案だと、庁舎が持つ様々な機能が見えず、ただ単に熊本市の多様性を謳っているように聞こえ、新庁舎のコンセプトと言われると疑問がある。元々は、庁舎を「森」と見立てていたのだから、そこが欠けると不足感がある。新しい庁舎が何なのかというのが見えない。

(道脇委員)

「お城とともにまもり 森の都とはぐくむ新庁舎」とするのはいかがだろうか。熊本城を「お城」に変えて、表現を柔らかくし、「新」を入れてみた。

(菅野委員)

いずれにせよ、新庁舎のコンセプトであるので、設計時に立ち戻ることができることが重要。

(田中会長)

「まもり はぐくむ」の部分に、これまで議論した森のニュアンスが込められている。当然、「包摂」「循環」「しなやかな対応」の概念が溶け込んでいる。

(松里委員)

「熊本城とともに」という言葉を冠言葉として固定し、残りの言葉を考えていった方が良いのではないかと。

(田中会長)

それでもいいと思うが、仮コンセプトの「森としての庁舎」が伝わりにくいという課題はまだ解決されていない。なお、仮コンセプトの「まもり そだて つなぐ」は、今回示した「まもり はぐくむ」に含まれている。

(星野委員)

キーワードとしては十分だが、菅野委員が述べるように、新庁舎が何なのかというのがまだ見えていない。「まもり」と「はぐくむ」が両方とも動詞であり、それに相応する主語がないから、分かりづらくなっているのではないかと。

(八幡委員)

本題を「熊本城とともにあゆむ森の都の新庁舎」とし、仮コンセプトの「人とまちを まもり そだて つなぐ」をそのまま副題にしてはいかがだろうか。

(星野委員)

やはり、本題に「まもる」の言葉は入れたい。

(菅野委員)

私からも案を出したい。

-熊本城とともに 森のようにひととまちを まもり そだて つなぐ 庁舎-

仮コンセプトの「森として」が伝わらないのであれば、「森のように」としてはいかがか。我々は、まちを守ったり、育てたり、つないだりするものが森の機能であると議論してきたので、「森のように」と新庁舎を形容する言葉にしてもいいと思う。熊本城自体も守るだけでなく、育てたり、つないだりしていく方が、これから先はより求められていくと思う。

(田中会長)

「熊本城や森のように・・・」と並べると、城が持つ「まもり・そだて・つなぐ」イメージとも受け止められるので、良いと思うがいかがだろうか。

(吉城委員)

それだと、「森」がまちを守るというのが、なかなかイメージできない。なお、ここでいう「森の都」は熊本市を言い換えている言葉なのか、それとも「森の都」は新たな概念としての言葉として出てきているのか。

(星野委員)

熊本市でこれから先も大切にしていきたいことではないかと。

(道協委員)

「熊本城とともにあゆみ 森の都をはぐくむ新庁舎」はいかがか。

(田中会長)

やはり、「まもり」の言葉は入れなければならない。「森のように ひととまちを そだて つなぐ 熊本城とともにまもる庁舎」はいかがだろうか。

(星野委員)

「熊本城とともにまもる」を後段に持ってくるのも良いと思う。

(田中会長)

「森のように ひととまちを そだて 熊本城とともにまもる新庁舎」

(星野委員)

ここまで来ると、「庁舎」は無くてもいいかもしれない。

(田中会長)

「森のように ひととまちを そだてつなぎ 熊本城とともに まもりあゆむ」はいかがか。

(松里委員)

これであれば、副題が無くても、新庁舎のコンセプトとして伝わると思う。

(田中会長)

他の委員の皆様は、いかがだろうか。

(各委員)

了承

(事務局)

了承

新庁舎のコンセプト

森のように ひととまちを そだてつなぎ 熊本城とともに まもりあゆむ

9. 閉会、事務局挨拶

(田中会長)

新庁舎のコンセプトを“森のように ひととまちを そだてつなぎ 熊本城とともに まもりあゆむ”とした。

以上で、本日の議事は全て終了とする。委員の皆様のご活発なご意見に感謝申し上げます。

(事務局)

第6回分科会の開催日時については現在調整中であり、決まり次第、委員の皆様および報道機関へ案内する。議事録については、委員確認後、市のホームページで公開する予定である。